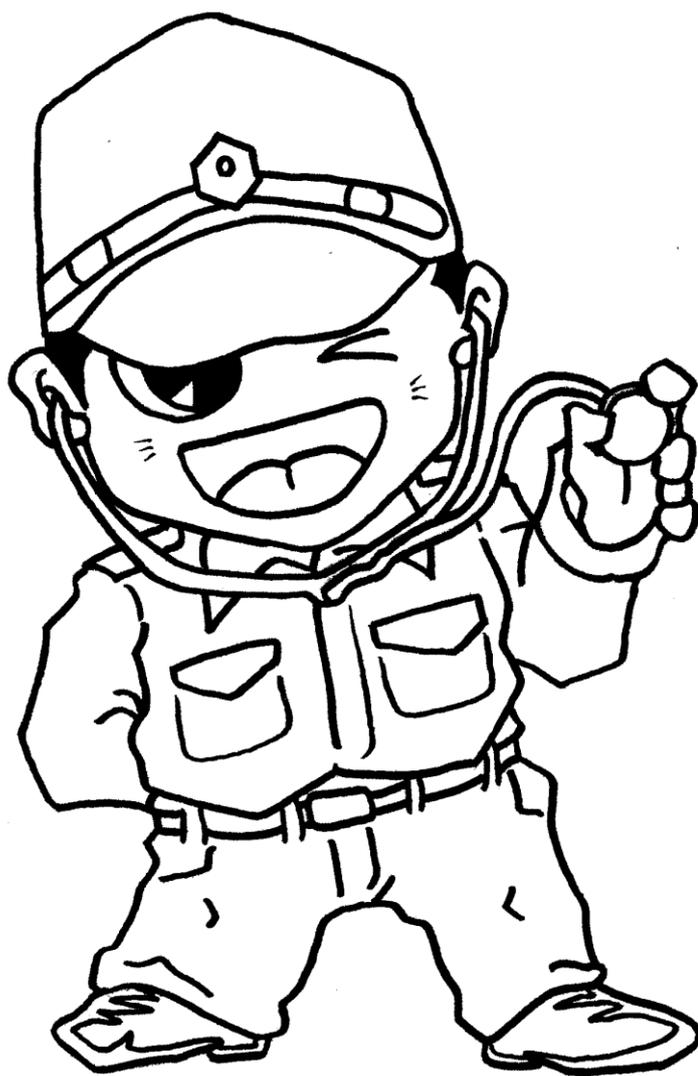


# 救急・救助統計



# 救 急 救 助 統 計

## 救急出動件数

平成28年中の救急出動件数は6,476件（1日平均の出動件数は17.7件）で、前年と比べ48件（0.7%）の減少となりました。事故種別の内訳は、急病が4,259件（65.8%）と最も多く出動件数の半数以上を占めています。次いで一般負傷が752件（11.6%）、交通事故が672件（10.4%）の順になっています。また、救急搬送人員は6,141人で、前年と比べ27人（0.4%）の減少となりました。年齢区分から見ると、65歳以上の傷病者の救急搬送人員が3,304人で、前年と比べ25人減少しました。これは救急搬送人員全体の53.8%を占めています。

## バイスタンダー（その場に居合わせた者）の重要性

突然倒れた傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには「救命の連鎖」が必要不可欠です。この「救命の連鎖」は、①心停止の予防②心停止の早期認識と通報③一次救命処置（心肺蘇生とAED）④二次救命処置と心拍再開後の集中治療という四つの輪（鎖）から成り立っており、バイスタンダー、救急隊、そして医師や看護師が連携することにより救命効果が高まります。

平成28年中に救急隊が搬送した心肺機能停止（心臓及び呼吸が止まった状態）傷病者160人のうち、バイスタンダーによる心肺蘇生が行われたのは102人で、このうち7人の方が社会復帰されました。突然の心肺機能停止傷病者には、バイスタンダーによる早期通報と心肺蘇生がなされ、迅速に除細動が行われることが社会復帰に繋がると考えられます。

本市では「普通救命講習会」を毎月19日と第2日曜日に定期開催するとともに、会社、町内会、各種団体からの要望に対しても随時受け付けており、広く一般市民の方々に心肺蘇生やAEDの使用方法を分かりやすく指導しています。この講習会以外にも、短時間で受講可能な「救命入門コース」があり、応急手当の普及に取り組んでいます。

## 救助件数

平成28年中の救助出動件数は73件（1ヶ月平均6.1件）となり、前年と比べ3件の増加となりました。

事故種別の内訳は、交通事故30件（41.1%）、建物等による事故28件（38.4%）、その他の事故11件（15.1%）の順となりました。

また、救助人員については前年と比べ16人減少の41人となりました。